

発信年月日：令和5年12月1日

所属部課	課長	担当職氏名	連絡先	TEL 0837-23-1264
教育委員会 生涯学習・文化財課	大嶧 聡	会計年度職員任用 新江田 智司		FAX 0837-22-3700
件名	巡回展講演会の開催について			

下記のとおり開催しますので、当日の取材方よろしくお願いたします。

- 日時 令和5年12月16日(土) 10:00~12:00 (受付は9時40分~)
- 場所 長門市総合文化財センター (ヒストリアながと)
長門市東深川2660番地4
- 参加者 対象：一般・中学生以上
- 主旨 日置埤山須恵器窯跡遺跡 ～北浦地方では希少な須恵器窯跡～ 県指定史跡
古墳時代が終末を迎えたころ、長門日置地域に新しい文化の波が押し寄せて登場するのが「須恵器(すえき)」と呼ばれる硬質堅緻な灰色系土器の生産である。5世紀ごろ大陸から渡来した工人によって始められたこの土器は、従来の土器生産にはなかったロクロによる成形と傾斜地を利用した登り窯による高温焼成という新しい技法によるものである。この地における須恵器の生産は、大和政権に服属した本地方の有力族長のもとへ中央から派遣された「陶部(すえべ)」と呼ばれる工人たちによって始められ、さらに大化の改新(645)後の律令制のもとで引き継がれていった可能性を持ちます。
今回の講演では、県史跡に指定されており、北浦地方では希少な須恵器窯跡である『日置埤山須恵器窯跡と周辺遺跡から考える長門の古代』と題して、窯跡の持つ価値とあわせて、後の時代に出現する、椀塚横穴墓群、長門深川廃寺とのかかわりについての内容も話していただく予定であり、長門の古代を知る上で大変興味深いものになると考えられます。
- 講演内容 演題『日置埤山須恵器窯跡と周辺遺跡から考える長門の古代』
講師 山口県埋蔵文化財センター主査
岡田 裕之(おかだ ひろゆき)氏
講演会終了後、館内展示品を見ながらのギャラリートークを開催
- 主催 長門市教育委員会
- その他 【日置埤山須恵器窯跡遺跡】
現在まで、埤山地区に三基、長行地区に一基の須恵器窯跡が確認されている。この窯跡は、本県北浦地方では稀有で有意義であるとして、同44年2月に県史跡に指定され保存されてきた。さらに平成6年(1994)には、今後の保存対策と資料収集のため、日置教育委員会が県埋蔵文化財センターの支援を受けて発掘調査を行った。窯跡発見時には、皿形の坏、貯蔵用または運搬用の壺・甕などの完形品30点と約300点の土器片が採集された。(旧日置歴史民俗資料館蔵)
さらに令和5年5月に、日置歴史民俗資料館内の収蔵庫から未整理の採集土器片が新たに確認されている。
(1号窯・2号窯・3号窯、段ボールおよそ7箱分、1000点以上)